

○健全化判断比率の推移

	健全化判断比率					《 参 考 》	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	—	—	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	16.25%	30.00%
実質公債費比率	6.5%	4.9%	5.1%	6.1%	5.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	11.8%	5.8%	6.4%	3.9%	7.9%	350.0%	

※ 実質赤字額及び連結実質赤字額が生じていないため、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は「—」（該当なし）表記となります。

○資金不足比率の推移

	資金不足比率					《 参 考 》
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	経営健全化基準
水道事業	—	—	—	—	—	20.0%
下水道事業	—	—	—	—	—	
病院事業	—	—	—	—	—	

※ 資金不足額が生じていないため、資金不足比率「—」（該当なし）表記となります。